

観光・レクリエーション

観光レクリエーション事業も、海外進出が目ざましい。日本交通公社調査部の調査によれば、古くは1960年の前半にハワイのワイキキへのホテル事業にはじまり、1973年現在、現地法人などを中心に、構想段階を含めると大韓民国17、台湾1、フィリピン10、インドネシア7、シンガポール7、マレーシア1、香港17、タイ9など東南アジアに著しい。ハワイ諸島にいたっては実に54という多くの事業が日本資本・日本企業によって進められている。さらにグアム島35、サイパン島はじめ南の諸島でも20近い事業が開業もしくは開業準備中である。これら開発事業のほとんどはホテル(200~500室/軒)事業であり、ゴルフ場、ショッピングセンターなどの施設を含む面的開発を意図している場合もある。ハワイでは別荘地の分譲、リゾートマンションの分譲等明らかな不動産事業もある。

これらの開発事業は、年間200万人(1973年)を越える日本人の海外旅行者を主要なマ

名 称	デ ー タ
ホテルグアムカクエイ (㊤ グアム島タモンビーチ)	事業実施箇所：グアム島タモンビーチ 事業主体：グアム・カクエイ株式会社 工事期間：昭和48年11月 事業予算：19億6000万円 敷地面積：1万3293m ² 建築面積：1479m ² 構造：鉄筋コンクリート12階 客室数：200 施工業者名：HAWAIIAN DREDGING CONSTRUCTION CO.
沖縄グランドキャッスル (㊤ 那覇市首里)	事業実施箇所：那覇市首里 事業主体：首里観光株式会社 工事期間：昭和48年8月 事業予算：46億円 敷地面積：2万1000m ² 延面積：2万7500m ² 超高層20階建 客室：305室 施工業者名：大城組
三保文化ランド (㊤ 清水市三保)	事業実施箇所：清水市三保 事業主体：株式会社三保文化ランド 事業予算：18億7000万円 主要施設：三保会館パビリオン(常設, 特設)・プール(公認25m, レジャープール)・ミニチュアランド(国際都市模写)・東海道五十三次庭園・レストハウス・駐車場・その他
ニセコアンヌプリスキー場 (㊤ 北海道ニセコ町, ㊤ 50%完成(昭和48年12月現在))	事業実施箇所：北海道ニセコ町 事業主体：北海道中央バス株式会社 工事期間：昭和47年7月~49年12月 事業予算：5億2000万円 スキーリフト：5基 ロッジ：一部鉄骨2階建・100人収容・延面積1745.7m ² 主要施設：レストハウス・駐車場 施工業者名：地崎組
成城グリーンプラザ (㊤ 東京都世田谷区)	事業実施箇所：東京都世田谷区成城 事業主体：成城グリーンプラザ株式会社 工事期間：昭和47年12月~48年5月 工事予算：約5億円 主要施設：ゴルフ練習場・テニスコート・プール・レストハウス・レストラン 施工業者名：三井建設

土と水の建設コンサルタント



中央開発株式会社

取締役社長・工学博士 瀬古新助

本社 東京都新宿区筑土八幡町5 TEL代表260-4251
 技術研究所 埼玉県川口市上青木町1の2500 TEL川口 51-6802
 設計部 東京都新宿区山吹町224(福島第2ビル) TEL代表269-8491
 支店 大阪 538-3691代 福岡 761-1137代
 営業所 名古屋 931-8586代 仙台 93-4675代

ーケットとしていることも明らかである。とくに東南アジアの諸国では、政策として観光事業—外客誘致を掲げている場合が多く、積極的に日本資本の導入をうたっている国もある。日本人の海外旅行もその主力はハワイを含めた前記諸国であり、これら開発事業も、ますます具体化してくるものと思われる。

国内ではリゾートホテル・旅館の開発がいくつかみられ、単体の開発ながら事業規模（建設投資額）は大きくなっている。

ゴルフ場の建設も、前年に引続き異状な勢いで伸びてはきたが、ずさんな計画・建設によるマイナス面も各所で露見し、地域自治体による規制がきびしくなっている。この結果、首都圏とくに千葉、神奈川、埼玉等では開発建設が不可能になってきている。

第三セクター方式で、華々しく上げられた大規模レクリエーション開発も、具体化するにつれ利害が顕著になり、期待したほどの前進はみられていない。海洋博も1年延期され、実際の事業も基盤整備も含めて大幅な遅れをみせており、資材不足、労働力不足等新たな問題も含めて波瀾含みである。

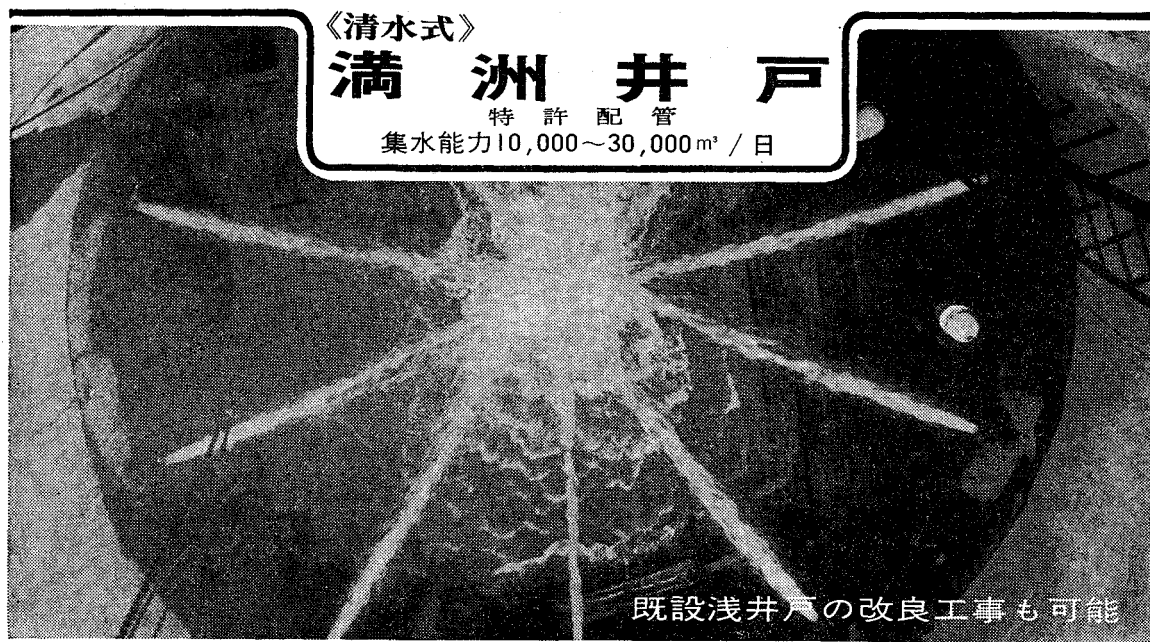
概 要 ・ 特 色
グアム島は、1967年にはわずか4300人にすぎなかった観光客が、日本航空が定期航空路を開設した1970年には4万5000人と10倍以上の爆発的増加を示し、1973年には17万人を越える程度である。 これによってホテル客室総数も2300室に達している。日本人客を相手にした日本人によるホテル経営が盛んであり、競合関係さへ生じている。このホテルは最新のものであり、独自の会員制を導入したコンドミニアム方式をとりいれていることが特徴である。
沖縄県の宿泊施設は海洋博を目標に新增改築が目ざましい。1973年度の新設は、建設中35、計画中を含めれば45軒、3000室に達する。このなかで本土資本による本格的シティホテル、リゾートホテルが注目を集めている。このホテルも、日本航空の関連会社である日航開発が、地元資本の要請に応じて開発建設したものであり、日航のホテルチェーンの一環として位置づけられるものである。
東海大学(松前重義総長)では海洋科学博物館、人体科学博物館などの付属施設をもっているが、新たに文化的、教育的文化ランドの建設に着手した。内容は主要施設に示すとおりであるが、エアードーム構造による展示会場、1/25~1/100の模型による国際都市の再現、東海道五十三次庭園などがテーマ施設である。 現在のところ完成までには至っていないが、開発理念も高く新しい空間づくりのひとつとして注目してよい。
北海道のニセコは古くから、わが国の代表的な山岳スキー場として有名である。現在のところ、資源に合致した本格的ウィンターリゾートとまでには開発されておらず、中央バスによる今回の開発もその意味では施設的にみるべきものはない。ただ新幹線のこの地域の通過決定など外部条件の改良により、ニセコ地域の最終的な開発構想に明るい見通しができてきた。本事業を含めて、この地域の今後は注目されてよい。
本プラザはサッポロビール株式会社の全額出資による総合レジャースポーツセンターである。 ゴルフ練習場がメイン施設で250ヤード打ち出し100打席あり、駐車場が完備(200台)していることが都市施設として売り物である。 このほか、現在ブーム的現象をみせているテニスは会員制としている(入会金個人10万円、ファミリー15万円)。テニスといい、プールといい、公共公園施設の立遅れも、こうした民間施設を生む背景として考えられるだろう。

《清水式》

満 洲 井 戸

特 許 配 管

集水能力10,000~30,000 m³ / 日



既設浅井戸の改良工事も可能

調査・設計・責任施工
総代理店

アジア水源工事株式会社

代表取締役社長・技術士 山根 大

東京都世田谷区弦巻5-2-16 TEL東京03(429)2151(代表)

アジア航測株式会社